



正義ならば 勝て

2007年（平成19年）11月の宵闇^{よいやみ}迫^{せま}るころ。ビルの向こうに立つ大阪城の威容^{いよう}を、池田名誉会長はカメラに収めた。

関西広布の第一歩^{いっしょ}をしるした1952年（昭和27年）の夏、淀川^{よどがわ}の鉄橋^{てつきょう}を渡る列車^{れっせん}の窓^{まど}から見たのも、夕暮^{ゆふぐ}れの大坂城^{おさか}だった。

57年（同32年）7月3日夕刻、名誉会長は大

阪城内^{ふけい}の府警本部^{みづか}に自ら赴^{おもむ}き、そのまま逮捕^{たいほ}された。事実無根^{じつじゆ}の公職選挙法違反^{こうしよくせんきふはん}の容疑^{ようぎ}である。2週間の獄中闘争^{ごくちゆうとうそう}の末、17日出獄^{しゅつごく}。「大阪大会」に庶民^{しよみん}の正義^{せいぎ}の炎^{ほのお}が燃え上がった。

きょう6日は、牧口・戸田両会長が軍部権力に逮捕された日（43年〈同18年〉）。7月には「権力の魔性^{ましじよう}」と戦う師弟^{しとう}の闘魂^{とうこん}が刻まれている。



「雄々しき言論の闘争を、正義の大波を、身近な足元から」
——「7・3」「7・17」の戦いを刻んだ関西の地で、友を励ま
す池田名誉会長（2007年11月、大阪市の関西池田記念会館で）

青春は戦いである。
精神の闘争のない青年は
伸びない。勝てない。
確固たる哲学をもって、
正義のために
人生のために
勇敢に、真剣に戦う青年ほど、
美しいものはない。

何らかの圧迫を受ける。
その壁を破ろうとして
全力で抵抗する。
そこに「生命力」は増大する。
人間としての成長も、進歩もある。
その意味で、圧迫こそ、
自身の新しき可能性を

開いてくれる。

「善人」とは

「悪と戦っている人」である。

外の悪と戦うことによって、

自分の内なる悪を

浄化している人のことである。

この軌道が人間革命の軌道である。

正義は必ずしも勝つとは限らない。
それでは悲劇だ。

正義は勝つてこそ
本当の正義と輝く。

正義というものは観念では
いくらでも言えるが、

現実の上で負けず

勝ち抜いた時だけ、

正義という証しが

明確に刻印されていく。

創価学会は

つねに逆境に

真っ向から立ち向かってきた。

ゆえに大発展した。

進歩への不動の道が

できあがったのである。

この道は、

生命発展の法則であり

学会の永遠の軌道である。